



か え で ゆ う び ん 12月

2020年12月1日
 社会福祉法人 清松学園
 幼保連携型認定こども園 かえで保育園
 園 長 引 地 美 津 代

今年も残すところ1か月となりました。思い返せば、昨年の今頃は「コロナ」という言葉すら他国での出来事としか思わなかった事が、わずか1年足らずで世界中にこんなに未曾有の事態が起こるとは思いもしませんでした。この先どのようなようになっていくのか予想できませんが、世界中が見えないものに脅かされることなく穏やかに笑いあえる日がきっと来るだろうと切に願いながら現実と向き合っていきたいと思います。

保育園では「だいちになると自分たちが思ったことは頑張ればできる」という子ども同士の言い伝えがあり、今年も子どもたちから様々な思いが沸き上がりました。ただ、春から夏にかけての期間が空白でした。皆で考え進めていったり提案したりする機会が大変少なく、年長としての「力」を出す機会がなかなか与えてあげられない日々を過ごしました。自分の思いを伝えるには自分で計画したり、周りの友達に説明したり、葛藤しながら進めていくことで自分を表現する方法を見つけ、その出来事がうまくいった時、喜びと自信になり、「力」につながっていきます。

今年は10月のお泊り保育の「きっとできる大冒険の日」とネーミングしただいちの子どもたち。どう展開していくのか見守っていました。どちらかというひかりの方が「こんなことしたい。」「あんなことしよう」と気負うことなく発言でき、その内容はおもしろい！！と共感されることが多かったのですがなぜか「甲山に行く」はだいちにならないといけないという伝説があり、その話にはひかりぐみも「だいちになったら甲山に行くんだよ」と言い合っていました。そして出発の時は「きをつけてね！」と声をかけてくれ、帰ってきた時には「おかえり！どうだった？」と興味津々。甲山はかえで保育園の聖地のようです。

その憧れの聖地「甲山」に行く計画では

第1回目 まずは歩いていくぞ！ 保育園→夙川→苦楽園・・・夏の暑い日苦楽園までで断念・・・

2回目 北山緑化植物園→北山貯水池→甲山！！→神呪寺・・・念願の甲山登山達成！！

3回目 神呪寺→甲山！！→北山貯水池→北山緑化植物園・・・がけのぼり体験や秋を満喫！！

3コースを変えて挑戦してきました。長い道のりでしたが一人も「しんどい！」「まだ歩く？」ということなく、秋を感じながらはっぱを拾ったり、展望台から西宮を一望したり、常にわくわくしながら「だいちだから」を合言葉に歩きました。長い階段を上がるとき、私が「この階段最後までいけるかな～」というとさっと手を差し伸べてくれ「引っぱってあげる！」と。保育園で作ったおにぎりやお芋。パンもきれいに平らげ順調よく登山を楽しめたようです。一つのことを一人ではなく皆でやり遂げるという体験はきっと成長していく過程では欠かせない体験だと感じています。

12月12日の成長発表会では、密を避けるため、一度に全保護者が集まることのないよう3部制にして行います。残念ですがだいち以外は保護者ひとりのみの参加とさせていただきますが、めばえからつぼみは子どもの作品や日々の様子がわかる記録をお渡しできたらと思っています。幼児のいぶき・ひかりは、はま・かぜにわかれて面白い劇遊びを披露します。そして最終学年のだいちは3部とも出演します。保育園の文化祭のような仕組みで一日楽しんでいただこうと計画しています。ですが、1人でも体調不良の方が出てしまうと中止せざるを得なくなります。不必要な外出や大勢の人の中での飲食・遠出など感染リスクを少しでも軽減できるようご家族で生活スタイルを振り返りいただきながら、園の行事も進めていきたいと思っています。

また、今送り迎えでの時間はなかなか、乳児クラスの日常を丁寧にお伝えできていないのが現状です。玄関先までの送迎はこの先も継続していかねばならないのが現状です。

そこで1月からめばえ組から「キッズノート」という携帯サイトを利用し、お子様の様子をもっと詳しく伝えあえるような仕組み（めばえ・ふたば・つぼみに限る）を作っていこうと準備しています。後日ご案内をお渡しして説明させていただきます。そして保護者と保育園とが協力・共有しながら「共育て」を充実させていきます。2020年度もどうぞよろしくお願いいたします。

秋の紅葉、テレビ中継などで様々な名所が紹介されていますが、かえで保育園の身近な場所でも色とりどりの紅葉を楽しむことができました。札幌筋の銀杏並木・東三公園・交通公園・夙川沿いの桜は桜の花が咲く頃とはまた違った色合いを見せてくれました。

そんな中、先日、だいち組は松秀幼稚園の園庭に遊びに行かせて頂きました。

毎年恒例5歳児の交流も今年は中止せざるを得ず、今年はあるすてきな松秀幼稚園の園庭で遊んだりたくさん5歳児と交流なく学校へ・・・と思っていたところ、平野園長先生のご好意で「松秀幼稚園の園児さんが降園後の時間ならどうぞ」とお誘いいただきました。わくわくしながら急ぎ歩きでいざ松秀幼稚園へ！

幼稚園の門をくぐり、園庭に入ると森や林のような自然が豊かな空間に出会い、子どもたちは目を輝かせながら「この葉っぱきれい、ここは黄色でここは赤、赤でも色んな色があるんだー」と発見。また、どんぐりを見つけた子どもは「こんなにたくさんあったら、かえでのみんなにマラカスが作ってあげられるかも…」と帰るまでの時間、袋いっぱいに拾い続け、「先生一緒に拾おう」と私もどんぐり拾いを楽しみました。園に帰ってから10個ずつ入れ物に入れ数えています。「10個のどんぐりの入れ物（お家）が5個になったら、50個！」とその後、51個のお家ができ、全部でうーん何個かな??と全て数え終えるまでにはもうしばらくかかりそうです。子どもはたくさんどんぐりを数えることを楽しむことを繰り返すだけのように見えますが、そこから数への関心が学びへとつながります。

保育園は毎日遊んでばかり？ではありません。机上の学びではなく、遊びの中にあるたくさんの学びを見逃すことなく、日々過ごしていきたいと思っています。

主幹保育教諭 藤森寿美

11月、手をぎゅっと握りしめて登園する子どもたちが多くいたように思います。

「ほら」と嬉しそうな表情で開いた手の中からは、どんぐりや落ち葉、まつぼっくりなど秋の自然がでてきました。

木の実や秋色に染まった葉を見つけた時のきらきらした気持ちを、誰かに伝えたい想いで握りしめてきてくれたのではないかと思います。

見つけた時にはどのような表情で、おうちの方とどのような会話があったのだろう、と想像が膨らみました。

毎朝、登園時に玄関のドアを開ける子どもたちの表情を見ると、

“おうちで何かあったのかな？” “今日は何か話したいことがありそうだな”

“昨日の夜、あまり眠れなかったのかな…” など、様々なことを思います。

朝の「おはよう」から、子どもたちの背景にあるものを感じていきたいです。

主幹保育教諭 河本彩奈

～先生コーナー

私事ですが、この春結婚し、新たな生活をスタートさせました。まだまだ慣れないことも多いですが、大変な中にも少しずつ楽しさを見つけ出しています。

さて、少し前ですが私の地元である金沢に夫も一緒に帰省をしました。ずっと神戸在住の夫にとって石川県はまさに田舎！見るものすべてに物珍しさを感じているようでした。そこで、そんな夫の為に石川県を案内しようと家族みんなで一日ドライブに出かけました。金沢をはじめ、能登半島へも足を運び様々な観光地へ行きました。出かける中でずっと地元と感じていた私にとっても知らないことがたくさんあり、その土地の名産や観光地など初めて知ることや発見の連続でした。テレビや本で得る情報と実際に足を運んで見る景色とでは当たり前ですが、感動や印象も全然違うと改めて感じさせられました。身近だからこそ知らないこともたくさんあり、そして知る事でまたさらに地元が好きになるのだと思います。皆さんも一度ご自身の地元をゆっくりと旅してみるのもいいかもしれません。

そして世の中が落ち着きましたら、ぜひ一度石川県にもお越しくださいね！

今井 奈沙

～めばえぐみ～

ねらい：友だちとの関わりを楽しむ

うた： おちょず・あかはなのトナカイ・おしょうがつ

肌寒い日が増えてきましたが、帽子を見ると“外にでたい”と帽子を被って準備を始めます。晴れている日には頭にじんわりと汗をかく程、身体を動かしています。階段をのぼって2階にのぼりテラスで遊び活動範囲も増えてきました。お友だちを少しずつ意識するようになり、お友だちが持っているおもちゃがほしくなったり、同じあそびを楽しんだり、お友達との距離が以前よりも近くなり、楽しく笑い合うめばえ組です。

「おもしろいがいっぱい、たのしいがいっぱい」

今まではバギーに乗って外をゆったりと眺めながらのお散歩でしたが、歩くのも安定してきましたので保育者と手を繋いで散歩ができるようになりました。靴を履いていつもと違うことに気付き、そのまま歩いて保育園の外に出るとわかるとにっこり笑って嬉しそうです。車が通る度にお話をして教えてくれたり、銀杏の葉っぱがたくさん落ちているのが気になったり…。住宅展示場から交通公園までお散歩範囲が広がり、キラキラした表情で周りをみえています。公園にいくと、葉っぱやどんぐりがたくさんあり、拾っては「はっぱ！」と大きな声で教えてくれます。またジャングルジムやベンチを見つけて一生懸命登ってみたりじっとする暇がありません。めばえ組の小さな赤ちゃんだった子ども達もしっかりと大きくなっておもしろい物や楽しいことを見つけるのがとても上手になりました。公園の帰りに子ども達が持っていた小さな鞆をのぞくと葉っぱやどんぐりの可愛いお土産が入っていました。

「これなあに？ぺたぺた とんとん」

今までの絵の具あそびは道具を使わずに手で、ぬたくりを楽しめるようにしていましたが、今回は、ローラーとタンポを使ってみました。手にすると「なにこれ？」と不思議そうに持つ子ども達。保育者と一緒に絵の具をつけると… “とんとんとん、色がついた！” “それからは、とんとんと上手に絵の具をつけて絵の具あそびを楽しんでいました。最後には、やはり「ぬたくり」の楽しさを知っているので手でぬりぬり～と真剣な表情をしながらも、保育者に手を見せてにっこり笑って楽しんでいました。



“担任の思い”

はいはいやずり這い、よちよち歩いていた子ども達がいつの間にか、しっかりと歩けるようになりました。小走りを楽しんだり、階段をのぼったりとアクティブに動けるようになってき、お部屋の中が以前よりも賑やかになってきました。その中で、お友だちが泣いているとそっと顔をのぞいていつもと違うことに気付き、背中をさすったり頭をよしよしと撫でたりお友だちを思う姿が見受けられます。確かにみんなが泣いていたときには、保育園のお兄さん、お姉さんが“よしよし”と頭を優しく撫でてくれたのをしっかりと覚えているのですね。優しさのバトンをそのまま繋いでいってほしいなと思いました。

宝田 聖美・立田 瑛怜菜・柴原 ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「季節を感じながら好きな遊びを楽しむ」

うた：「あわてんぼうのサンタクロース」「こっちのたんぽ」「いっちくたっちく」

冬はそこまで来ています。最近は肌寒く感じられるようになってきましたが、ふたば組の子ども達は元気いっぱい外あそびを楽しんでいます。おままごとやフラフープで電車ごっこなど、友だちと一緒に遊ぶ姿がたくさん見かけます。寒さがどんどん増しますが、今月も体調をみながら園庭でたくさん走って、身体を動かして遊びたいと思います。

「秋を見つけにいこう」

11月は天気がいい日が続き、日中は暖かくふたば組全員でお散歩に出かけることができました。散歩に出かける前からフェンスの前に集まり「はやくいきたい」と待ちきれない様子の子もたち。先生の手をしっかりと握ってお散歩スタート。公園に着くまでに大きなトラックやバスを見て「ばいばい」と手を振ったり、落ちているイチョウの葉を拾ったりといろいろなものに興味津々でした。公園のたくさんの落ち葉がある場所に着くと、元気いっぱい走り出す子ども達。感触や音などを楽しむことができました。公園には茶・黄・赤色など色の違う葉や、どんぐりなど秋の自然物をたくさん見つけました。園庭でもどんぐり集めが大好きな子ども達は、公園でも夢中でどんぐり集めをしていました。大きさの違うどんぐりを見て、「おおきいね、ちいさいね」穴の開いている葉を見て、「おばけだ」など言いながら楽しんでいました。帰り道、どんぐりや葉がたくさん入った袋を持って最後までしっかり歩いていました。今回は幼児やめばえ組などいろいろなお友達と散歩を楽しむことができました。ふたば組だけのお散歩も楽しみです。



「はやくやりたいな」

毎週木曜日の体操の時間に参加させてもらうことが楽しみになっているふたば組の子ども達。前までは築山の上でスタンバイして、音楽が流れると一緒に体操を楽しんでいました。今ではつぼみ組が園庭に出てくる前にマットの上に座り、「体操まだかな」と座って待っています。他のクラスをじーっと見たり、体操に参加しようとする姿もあります。つぼみ組までもう少し。もう来年が今から楽しみな子ども達です。



“担任の思い”

最近お友達同士の関わりがさらに増えてきたなと嬉しく感じています。遊びの中ではまだ一人で楽しんでいることも多いですが、日々の何気ないやり取りの中で、子ども同士が自然と関わりあえていることを、今の状況の中でも保護者の方に少しでも多く保護者の方に伝えていけたらと思っています。同じクラスの子も達だけでなく、めばえ組やつぼみ組、幼児など他のクラスの子も達との関わりも大切にしていきたいと思います。

～つぼみぐみ～

ねらい：「2人組や集団での遊びを楽しむ」

うた：「ジングルベル」「クリスマスのうたがきこえてくるよ」

気温が低くなり、日が落ちるのも早くなってきました。

園庭に出ると「さむいね」「かぜがふいてるよ」とお話ししている子ども達ですが、いざ遊び始めると友だちと追いかっこをしたり、鉄棒に挑戦したりと寒さを忘れて夢中になって遊んでいます。

秋の自然探しが大好きで毎日どんぐりや落ち葉を手に収まらないくらいたくさん集めて「こんなにたくさん見つけたよ！」とキラキラした表情で見せてくれるつぼみさん。

これから寒さが厳しくなりますが、寒さに負けず元気いっぱい過ごしたいです。

～まっかな秋～

毎日朝のお集りの時間に手遊びをしたり、歌を歌ったりしています。

11月から歌っている「まっかな秋」、はじめは小さな声で少し恥ずかしそうに歌っていた子どもも、毎日歌っていくうちに、お友達と顔を見合わせて楽しんで歌えるようになりました。

毎日繰り返し歌っていると、「まっかだな～」と自然に口ずさんでしまうほど、歌うことが楽しくなったようでした。



伴奏を聴いてピアノに合わせて上手に歌えるようになり、11月のお誕生日会ではつぼみ組から「まっかな秋」の歌のプレゼントをしました。

大勢の前で少し緊張した表情の子ども達でしたが、ピアノに合わせて大きな声で堂々と歌うことができ、自信をもって歌う姿に成長を感じ、嬉しく思います。

歌うことが大好きなつぼみさん。次はどんな歌を歌おうか、今から考えるだけでワクワクします。

～春に会おうね～

おたまじゃくしとしてクラスに仲間入りしたとのさんとあまちゃん。

子ども達と一緒にエサを探したり、家づくりをしたりとお世話をしながら2匹の成長を楽しんでいました。クモや小さな虫を見つけると、かえるさんにあげようと張り切って捕まえてくれ、2匹がエサを食べる様子を観察したり、おたまじゃくしからかえるになる様子と一緒に見守ってきました。



そんなとのさんとあまちゃんは、11月になり気温が下がってきたことで土の中に潜るようになりました。かえるのお家を覗いてみると「いないねえ」と不思議そうに観察している子ども達。寒くなると土の中で眠るんだよと伝え、と、「そっかあ」と寂しそうな顔をしていました。暖かくなりまた春に会えることを願って子ども達とお家を作り変えて冬眠の準備をしました。またあおうね！

“担任の思い”

幼児さんの遊びをじっと見て真似て遊ぼうとしたり、「これはなあに？」と虫の名前を教えてもらったり、泥団子の作り方を教えてもらったり…。年上の子への憧れが感じられるようになりました。また、顔をのぞき込んだり、頭をよしよししたり、年下の子をお世話したい気持ちも見られ、園生活の中でつぼみ以外のお友達との関わりを楽しむ姿が多くなってきました。これからひかり組とのペア活動も始まり、子ども達がひかり組のお兄さん、お姉さんとの関わりの中でどんなことを感じ新しい発見をしていくのか楽しみです。

今井奈沙・小坂橋円香・尾崎美緒

～はま・かぜ～

ねらい：「人前で表現する楽しさを感じる」「友だちのいいところを見つける」

うた：「赤鼻のトナカイ」「赤鬼と青鬼のタンゴ」

11月に入ってから肌寒い日が増えました。子どもたちは、紅葉したさくらの葉を拾い集めたり、どんぐりを見つけると大切にポケットの中に入れたりと秋の自然に触れて遊ぶことを楽しんでいます。夕方の外遊びの時間は、ふとしたときに築山から子どもたちと一緒に空を見上げていることがあります。面白い雲を見つけては「竜みたい！」と子どもの声から、「確かに！見えるね！」とそんな会話を楽しんでいます。見え方はそれぞれですが、子どもの発想は「やっぱり面白いな～」と感じます。12月は劇遊びや歌を楽しみ、皆で力を合わせる嬉しさや楽しさを感じながら過ごしていきます。

“「知りたい」と「なるほど」な気持ち”

幼児の部屋には図鑑コーナーがあります。そこでは、魚や虫、鳥、日本の図鑑など子どもたちが釘付けになって見えています。子ども同士で同じページを読んでいたりとページをめくるとにクイズをしたり子ども同士の会話がとても面白く、また可愛らしいです。



日本の文化や遊びを調べてみたり「小さい秋みつけた」の歌詞に興味を持ち、「モズ」ってどんな鳥？」「どんな声？」など子どもたちの疑問を調べたり、またいろいろな虫の図鑑で、種類や特徴、成長していく姿を発見し、興味津々

でした。実際に見たものや、調べたもの、知ったことなど、子どもたちから素直に感じたことを話してくれたり、友達同士で知ったことを目をキラキラさせて会話をする姿か楽しさが伝わってきます。

日々の生活の中で、子どもたちと共にいろんなことを不思議や疑問に感じたり、自然や生き物、文化などに触れることから、次に繋がる楽しさや発見をたくさん見つけていきたいです。

“おてつだい”

園庭で遊んだ後、着替え終わると伊吹の子どもたちがはりきって「そろそろご飯だね」「お手伝いしてもいい？」と聞いてきてくれます。普段、大人やだいち組の子が準備をしている様子をよく見ていて、「お手伝いしたい！」と笑顔で駆け寄り、積極的にお手伝いをしてくれています。

たくさんお手伝いをしたい子供たち、あっという間にお手伝いが終わると「次は何したらいい？もうないの？」「まだしたかったな～」と話していました。



いぶき組は様々なことに興味を持ち、お箸の事やお手伝いなどお家での出来事をよく話してくれます。

また、「一人でできること」も増えてきました。今、家庭の様子を聞きながらお箸の使用を進めています。持ち始めは「見てて！」と嬉しそうにしていました。

着替えでは、今まで脱いだ服を袋に入れていましたが、たたんで鞆に入れるように移行しました。

服の前後などまだ難しい部分もありますが、子どもたちが自分で出来る機会を大事にしていきたいです。

ひかり組ははだいちのしていることに興味津々。つぎは自分たち！と意気込んでいます。

またひとつお兄さん、お姉さんになっていく子どもたちを見て、これからどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。

“担任の思い”

友達と一緒に楽しむことや、イメージを共有する姿がよく見られます。自分の思いを伝え合うこと、相手の思いに寄り添おうとする姿も見られ嬉しく感じます。時には上手くいかないこともあります、けんかをするのがいけないのではなく、自分の思いを素直に伝えることや、相手の気持ちに気づく経験をたくさんしていきながら、友達との関係が心地よいと感じたり、思いを受け止め合える仲間関係を築いていけたらと思います。子どもたち一人ひとりの思いを大切にしていきたいです。

山本 あかね



“ちいさい秋みつけた”

11月に歌っていた「ちいさい秋」の歌が大好きな子ども達。園庭で遊んでいるときも楽しそうな歌声がよく聞こえてきます。東三公園に散歩に出かけた時もたくさんの“ちいさい秋”を見つけました。赤や黄色に染まった葉を見つけては、「見てみて！すごくきれいな色だね。」と嬉しそうで、保育園にも、たくさん持ち帰りました。



持ち帰った葉を机の上に広げると、形や色もさまざまで、お気に入りの1枚を見つけては紐に通し、ネックレスや冠を作っていました。友だちと見せ合いをしては「かわいい！」「すごくおしゃれだよ！」とお互いに絶賛する姿はとてかわいらしかったです。

まだまだ落ち葉に夢中な子ども達は、園庭に落ちているかつらの葉やどんぐりの葉を拾い集めて、

細かく細かくちぎって遊んでいます。カラフルな葉っぱの粉ができると、「なんだかふりかけみたい…。おいしいかな…。」と話していましたよ。季節の自然にたくさん触れて、楽しんでほしいと思います。



“秋の山をつくろうよ”

先月に紹介をした相撲ですが、子ども達の興味はまだまだ止まりません。相撲部まで出来、新入部員は増え続けて、「まわしが足りない！大変だ！」と忙しそうな子ども達。そんななか、“ねずみの相撲”という絵本に出会いました。

おじいさんとおばあさんの家に住むねずみが、山奥で相撲をとるシーンがあるのですが、読み終わると「すもうしたくなってきた！」「よし、いまからやってみよう！」と園庭に駆け出して行きました。

いつものように園庭に土俵を作っていると、「でも山がないねんなあ。」と呟き、築山を秋の山に見立てて、ねずみのすもうごっこをしていました。

そんな出来事があり、みんなで秋の山を作る事にしました。いぶき・ひかりでペアになって広い青空を刷毛で塗っていききました。そして秋の色を塗った新聞紙を自分なりに木や葉っぱの形にちぎり、貼りつけていきました。

子ども達のイメージのから自由に山を作っていくことができるように、大人が形を伝えることはありませんでしたが、それぞれが声を掛けあいながら、木や葉っぱに見立てて貼りつけていき、立派な秋の山が出来上がりました。

完成した山を見ては、「すごい、生きてるみたい。」と嬉しそうにしていました。



“担任の思い”

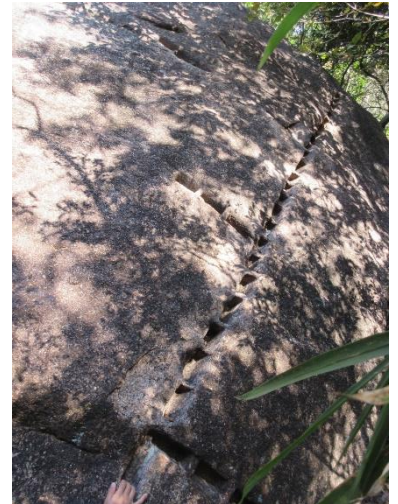
今まで取り組んできた経験から、自分で考え、遊びを繋げていく姿が見られるようになってきました。大人が思いつかないようなアイデアが満載で、普段の遊びや生活の中で子どもたちの“やってみよう！”という気持ちがこちらまで伝わってきます。子どもたちの想像する力を存分に表現し楽しむことができるよう、サポートしていきたいです。

林 奈津美

ねらい：「人前で表現することを楽しむ」「時間を意識して過ごす」
う た：「ともだちっていいな」「おつきさま」「北風小僧のかんたろう」

“憧れの甲山へ”

お泊り保育が終わってからだい組にとって『きっとできること』ってどんなことだろうと話し合いました。中でも御前浜から続く川の道筋や甲山への思いは冷めないまま。地図を見ながらどの道を通るか、何に乗るか調べながら甲山への不思議を膨らませていました。11月いよいよ憧れの甲山へ出かけました。



山道を登る途中には大きな岩やいのししの足跡、色とりどりの葉っぱなど普段はあまり感じる事がないことを体験することが出来ました。不思議な雰囲気、空気感に興味津々でした。山を抜けると紅葉した山々や広い池の先に立つ甲山。今登ってたのは甲山じゃなかったの？と驚きながらも、てっぺんまで登ろう！と自然の中で過ごす子どもたちはとても生き生きしていました。池の周りで昼食を食べながら「ほかほかして気持ちいいな」「風の音が聞こえるよ」と自然を満喫しながら、最高の笑顔を見せてくれました。小さな不思議に沢山気付くことができた1日でした。



“担任の想い”

甲山の山頂で見た景色は子どもたちにとっても印象深かったようで「お家が小さく見えるね」と違う見方をしたのが楽しかったようです。次の日、甲山で体験したことを模造紙に描きました。山を散策しながら「鳥がお話してるみたい」「風で葉っぱが当たる音がする」と耳を澄ましたことやお昼ごはんを食べながら見た池など身体で感じたことを色鮮やかに表現していました。「みんなであの池描こうよ」「ここに長い階段あったよね」と1人ひとり感じたことが友だちの思い出と重なりあうことを楽しんでいます。「次はどこに行く？」と次の行先を計画中です。この1年過ごしたことをたのしい成長発表会で一人ひとりの思いと仲間との表現する様子を披露できるよう計画しています。子どもたちが思い思いに表現する様子を楽しみにしていただきたいと思います。

保護者の方からのお話コーナー

お迎えの時、掲示板に飾ってある写真を見ながら、これは〇〇ちゃん！これは〇〇くん！今日はこんなことをした！と教えてくれるので日々の成長に感動しています。
年下のお友達もでき、お姉さんをしている姿を見ると大きくなったなあと微笑ましくなります。

ふたば組 かざきさん

一時期、早迎えのお友だちがうらやましかったようで、毎日のように早迎えをせがんでいました。あるとき、用事で遂に早迎えをすることになり、娘は朝からウキウキで登園、さぞ喜ぶだろうとお迎えに行ったところ、渋い顔で「今日は遅迎えが良かった！」と言い放ち、母を愕然とさせました。お友だちと遊ぶのが楽しくなり帰りたくなかったようでした。（あんなに楽しみにしてたのにー！）

いぶき組 ちほさん

4月に入園してすぐにコロナウイルスの影響により登園できなくなり、慣らし保育もありできないままスタートした保育園での生活。親も心配や不安が沢山ある中、先生はもちろん年齢が上のお兄さんお姉さんたちに温かく見守って頂き保育園が大好きになった娘。朝は自らくつをはきに玄関へ行き（出発はまだ先なのに）園に着くと家での娘とは違う表情で、振り向きもせず部屋に入って行く様子を見て嬉しくもありさみしくもある親。とても喜んで保育園に行く姿を見て、こちらの園に決めた私の判断に間違いはなかったと思う日々を送っています。これからも楽しくのびのびと過ごしてほしいと願っています。

めばえ組 なつみさん

先日、個人懇談があり、先生からこんな言葉をいただきました。「新しいことにチャレンジしようとする姿が見られます。大人でも難しいことなのにすごいなあ、と思います」大人になるにつれてどんどん失われつつある“チャレンジ精神”。娘を見習って私も日々いろんなことにチャレンジしていきたいと思います。

ひかり組 じゅりさん

先日、運動発表会がありました。
案の定、息子は恥ずかしがり、園歌などはあまり歌えていないなあなどと思いましたが、入園したふたばさんの時から基本的にすごく“はずかしがり”だし、それが“息子らしさ”なんだろうなとも思います。でも競技は全力で楽しんでいて、良い笑顔も見ることが出来ました。保育園生活も残すところ4か月程しかなく、淋しさでいっぱいですが、卒園まで息子らしく大好きなお友達と先生と全力で過ごしてほしいです。

だいち組 ゆかさん

毎日家のお手伝いをがんばっています。洗い物も1つ1つていねいに洗えるようになってきました。弟のお世話も上手になり、とても頼もしいです。これからも心優しく育ってね。

ひかり組 さちこさん

☆お台所から☆

街がクリスマスのイルミネーションに彩られて、クリスマスソングを耳にすると1年過ぎるのがあっという間だと感じます。寒さも本格的になり、冬野菜や果物がより美味しくなる季節です。今月も寒さに負けない体の温まる食事を作りたいと思います。

<11月の食育活動の様子>

<焼き芋>

・収穫したさつまいもを使って、園庭で焼き芋を楽しみました。
幼児の子どもたちは、さつまいもを濡れた新聞とアルミホイルで包みました。
「火の中に入れるのに新聞燃えないの?」と不思議そうに尋ねてくる子や、炭に火をつけていると「だいぼうけんの日の時のバーベキューみたい」とだいち組同士の会話も聞こえました。
焼きたてのさつまいもはとても甘く、心も体もほっこりしました。



<白菜の和え物>

・和え物に使う白菜をつぼみ組の子どもたちが手でちぎりました。
全クラス分大きな白菜でしたが大きい形や小さい形など色々な大きさがありましたが、一枚一枚丁寧にちぎることを楽しめたようです。12月も色々な冬野菜を紹介していきます

<粕汁>

・かえで保育園の粕汁はもちろん白鹿の酒粕を使い、味噌を合わせて作ります。その粕汁に使う酒粕を幼児の子どもたちに手伝ってもらいました。
お酒はお米と麴と水から出来ていることや、お酒を造る時にしぼった後に残ったのが酒粕であることを伝えました。一人ずつ酒粕を見てもらうと
「すごいお酒のにおいがする」「なんかはんぺんみたいだね」「パンみたいなにおいもする」と色々感じたことをたくさん話してくれました。
野菜がたくさん入った粕汁は大好評でした。



<12月に予定している食育活動>

・冬野菜をちぎる ・冬野菜の皮むき ・冬至の意味を知る ・柚湯を飲む

<12月の献立で使う旬の食材>

たら	はくさい	だいこん	かぶ	かぼちゃ
ちぢみほうれんそう	こまつな	みかん	りんご	



- ・12月29日から1月3日までは園が休園となります。
緊急時（とくにコロナ関係の報告）は携帯にご連絡してください

080-9500-1997(かえで保育園園携帯)

- ・かえで保育園の冬期休暇
12月28日～1月6日
- *1号の方・育児休暇中の方はお休みとなります。1号以外の方も保護者の方のお仕事がお休みとなる場合は家庭保育をお願いします。
- ・12月12日 楽しい成長発表会です。
9:30～15:00で行います。
詳しくはお知らせをお渡しします。
- ・12月7日～17日関西学院大学より4名
実習に入ります。
- ・12月23日お楽しみ会ではピエロをお招きして
楽しめます。

こんなことしたよ♪

5日（木）は、収穫した焼きいもを幼児さんみんなで包み、園庭で火を起こして焼きいもをしました。

おやつの時間にできたてホカホカのお芋を園庭でおいしくいただきました。

「あったかくておいしいね」「おかわりしたい！」と大満足な様子の子どもたちでした。



18日（水）に11月生まれのお友達の誕生日をお祝いしました。先生からの出し物では、フルート、クラリネット、トロンボーンを使った合奏を行いました。普段見慣れない楽器に子どもたちも興味津々で、楽器の音色に耳を澄ませていました。秋の曲を演奏し、子どもたちも手を叩いたり口ずさんだりと保育者と共に演奏を楽しみました。



★お願い★

- ・体調管理をしてください。
引き続き、衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っています。新型コロナウイルスに加えて、インフルエンザや胃腸風邪などが流行ってきます。お子様の発熱・体調不良の場合は保育できません。登園時の検温でも微熱があった場合お迎えをお願いします。

ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。又、**ご兄弟の方も一緒に家庭保育をお願いします。**皆が健康管理に努め感染しないよう気を付けてすごしたいですね。

- ・保護者の方がお休みの場合は家庭保育をお願いします。ご兄弟と一緒に休み下さい。
- ・病院や健診など受診の際には、必ず事前にお知らせください。

- ・季節がかわり衣服も衣替えの時期になりました。

園でロッカーを整理し不要な物はお返しします。

- ・園で着用する上着はフードが付いていないものをご用意下さい。

- ・園で着用する衣服や持ち物等、名前が記入されているかご確認ください。



12月予定

- 1日（火）白鹿・工事見学
*珍しい重機を見学します。
- 11日（金）砂場の砂の熱処理
- 12日（土）たのしい成長発表会
*土曜日保育はありません
- 15日（火）ひかり・だいち園外保育
*詳細は後日お知らせします
- 21日（月・午後）西宮市監査
- 23日（水）誕生会・お楽しみ会
月例健診
- 体操 3・17・24日
- 絵画 7・18

1月の予定

- *1月30日（土）は園内研修がありますので13時までの保育となります。
- *6日（水）に予定していたもちつきはコロナの感染症の広がりによって検討します。
- *26日（火）ひかり・だいち ゆきあそび